



平成 27 年 1 月 23 日

各 位

会 社 名 株式会社 クリムゾン  
(JASDAQ・コード番号：2776)  
代表者名 代表取締役社長 姚 健  
問合せ先 管理部部長 黒田 直樹  
電 話 03-6659-5141

平成 27 年 1 月期業績予想(非連結)の修正に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 9 月 3 日に公表いたしました平成 27 年 1 月期通期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 平成 27 年 1 月期通期 (非連結) (平成 26 年 2 月 1 日～平成 27 年 1 月 31 日)

(単位：百万円 %)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	729	△71	△76	16	円 銭 3.82
今回修正予想 (B)	588	△141	△200	△107	△20.93
増 減 額 (B-A)	△141	△70	△124	△123	
増 減 率	△19.3	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 1 月期)	956	△292	△352	△325	円 銭 △79.08

2. 業績予想の修正理由

当第 4 四半期累計期間におきましては、厳しい消費マインドの中で推移いたしました。その中卸売事業におきましては、主力ブランドを中心に各得意先への提案強化を行いました。

しかしながら、大手得意先の PB 化傾向の拡大や、店頭在庫の消化率低下の影響から、売上総利益に与える影響が大きい冬物プロパー商品の投入が減少したことと、提案しておりましたコラボレーション企画が頓挫したことや、2015 年春物商品について、受注引き付けによる投入時期のずれ込みなどが影響し、売上高を落とす要因となりました。為替の円安進行に伴う仕入コストの上昇により、売上総利益が減少いたしました。

ライセンス事業におきましては、新規取引先の獲得や取扱ブランド拡大を目的に営業活動に努めましたが、全般的に卸売事業同様、サブライセンシー各社の得意先における PB 化の影響による販売数量の減少や、円安進行に伴う仕入コストの上昇による生産調整などが影響し、その中においてシーズン物である冬物ギア関連商品が販売不振に終わりまた、2015 年夏物関連商品の生産減少などから、売上高及び売上総利益を落とす要因となりました。

営業外費用につきまして、期中の為替相場の変動により、外貨建債務等について約 62,000 千円（平成 27 年 1 月期第 4 四半期会計期間にて約 32,000 千円発生する見込みとなりました。）の為替差損が発生する見込みとなっており、経常利益及び当期純利益に影響が出る見込みであります。

なお、上記の為替差損は当社が保有する外貨建債務等の決済及び平成 27 年 1 月 22 日時点の為替レートを参考に評価替えしたものであり、確定後速やかに開示いたします。

以上の結果、前回発表予想を下回る見込みとなりましたので、上記の通り修正いたします。

※本業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上